



平成 21 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 取 締 役 社 長 石 黒 文 博
 (JASDAQ・コード番号8747)
 問い合わせ先 常務取締役管理本部長 篠 塚 幸 治
 電 話 番 号 (03)3667-5211(代表)

平成 21 年 3 月期業績と平成 20 年 3 月期業績との差異及び期末（年間）配当予想に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期会計年度（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績と平成 20 年 3 月期会計年度（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。また、期末（年間）配当予想についても併せてお知らせいたします。

記

1. 業績の差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成20年3月期 (A)	8,399	1,663	1,634	909
平成21年3月期 (B)	5,090	△ 371	△ 237	△ 260
増 減 額 (B - A)	△ 3,309	△ 2,035	△ 1,872	△ 1,170
増 減 率 (%)	△ 39.4	—	—	—

(2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成20年3月期 (A)	8,245	1,602	1,638	861
平成21年3月期 (B)	4,870	△ 515	△ 405	△ 393
増 減 額 (B - A)	△ 3,375	△ 2,118	△ 2,044	△ 1,255
増 減 率 (%)	△ 40.9	—	—	—

2. 差異が生じた理由

(1) 連結業績

平成 21 年 3 月期における当社の連結業績を概観しますと、第 2 四半期までの上半期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）では、営業収益は堅調に推移し、業績は順調に進展しましたが、第 3 四半期以降、实体经济の悪化が一段と深刻化してきた影響を受けて商品市場が低迷したことから、下半期間（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21

年3月31日)では、受取手数料は上半期実績の60%強程度、売買損益は同じく30%強程度に伸び悩んだため営業収益は相当の減収を余儀なくされました。このような状況により、平成21年3月期通期の連結業績は、受取手数料は3,498百万円(前年同期比48.9%減)、売買損益は1,487百万円(同3.4%増)、営業収益は合計で5,090百万円(同39.4%減)の計上にとどまりました。一方、営業費用は経費の節減に努めるなど、前年同期比18.9%減少して費用の圧縮化を図ったものの対応するまでには至らず、営業損益は371百万円の損失(前年同期は1,663百万円の営業利益)、経常損益は237百万円の損失(前年同期は1,634百万円の経常利益)をそれぞれ計上し、主な特別損益に投資有価証券評価損260百万円などを計上した結果、当期純損益は260百万円の損失(前年同期は909百万円の当期純利益)となりました。

(2) 個別業績

個別業績の対比につきましては、連結業績と概ね同様でありますので、上記連結業績をご参照ください。

3. 配当金の内容

基準日	1株当たり配当金(円)	
	期末配当金	年間配当金
前回予想 (平成21年2月13日 第3四半期決算発表時)	未定	未定
今回内定	7.50	7.50
前期実績 (平成20年3月期)	10.00	10.00

4. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対して業績の状況に応じて利益還元を行うことを基本方針としております。

当期の剰余金の配当金につきましてはこの基本方針に基づき、1株当たり期末(年間)配当金を7.50円とさせていただきますことといたします。

以上